

ULTRASUN

コラーゲン マシン

633nmの
可視光線を出す
特殊なランプを
搭載した
最新美容機器!!



○コラーゲンの生成

コラーゲンは、皮膚にある「線維芽細胞」によって生成されます。通常、年齢とともに線維芽細胞の働きは衰え、皮膚の組織が古くなり、肌のハリが失われていきます。しかし、コラーゲンマシンから照射される633nmの可視光線によりコラーゲン合成が活発化され、生成が促されるのです。※可視光線：目に見える光のことで、人体には害はありません。

○初期の照射プログラム

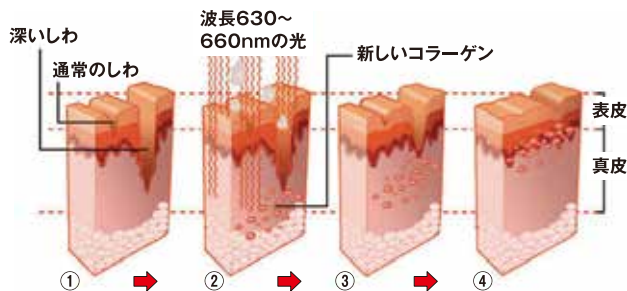
最大20分間の照射を週に2~3回、10~12週間続けます。(1週間で均等に2~3回行うことをお勧めします)この初期の照射プログラムが、コラーゲンランプの効果を最大限に高めます。

○その後の維持プログラム

初期の照射プログラムが終了した後、その効果を維持するために、最大20分間の照射を週に1回程度実施することをお勧めします。

お肌の曲がり角

皮膚には0.2mmほどの薄い「表皮」の下に「真皮」と呼ばれる2~3mmの層が存在します。その真皮の中にコラーゲンの線維が多く存在し、皮膚に張りや弾力を与えています。また、真皮には「線維芽細胞(せんいがさいぼう)」というコラーゲンの工場が存在し、新しいコラーゲンをせっせと作って肌に供給しています。(ちなみに、線維芽細胞は、コラーゲンと一緒に働いて肌に張りや弾力を与える成分、エラスチンやヒアルロン酸の生成も担っています。)若いうちは、この線維芽細胞が元気に働いているため、コラーゲンが不足するようなことはありません。しかし、この線維芽細胞は20代後半から減り始め、30代では急激に減少するとされています。30代が「お肌の曲がり角」と言われるのはこのためです。肌の衰えを少しでも遅らせるためには、この線維芽細胞をいかに元気に保つかが鍵と言えるでしょう。



- ① 深いしわが刻まれた皮膚
- ② 波長が630nm~660nmの光があたると、それは真皮層まで到達し、線維芽細胞を刺激して新しいコラーゲンが作られる。
- ③ 新しいコラーゲンがどんどん蓄積され、肌が張りや弾力を取り戻していく。
- ④ 新しいコラーゲンで真皮が満たされ、深いしわは下から押し上げられるように目立たなくなっている。